

薬草園だより

令和3年12月 冬号 No.90

寒さの厳しい季節になってきました。
木々は葉を落とし、草花の地上部は枯れ、次の季節への準備を始めています。



パッションフルーツ

Passiflora edulis Sims トケイソウ科



2018.5

漢名：クダモノトケイソウ(果物時計草)

部位：果実

成分：プルナシン

薬効：解鬱，降圧

用途：果物，菓子原料



2021.8

南米原産のパッションフルーツのパッションは、熱い地域のイメージの「情熱」ではなく、花の形がキリストの受難に似ていることからきています。甘酸っぱい果肉は種ごとそのままでもたべられます。ハワイでは「リリコイ」と呼ばれてパンケーキに添えられています。抗うつや鎮静効果のある花や葉はハーブティにして利用します。

モンキーバナナ

Musa acuminata Colla バショウ科



2021.11

漢名：マレーヤマバショウ(馬來山芭蕉)

部位：果実

成分：ムサノロン E

薬効：疲労回復、整腸

用途：果物、菓子材料



2021.5

私たちが日常に食している部分以外に、花序の先につく尾花は原産地では野菜として売られ、あく抜きをして炒めて食べるそうです。また最近では収穫後に今までは処分されていた葉や茎の繊維質を利用し、Tシャツやバックなどに再活用する環境へ配慮もされてきています。

スターフルーツ

Averrhoa carambola L. カタバミ科



2020.5

漢名：ゴレンシ(五飮子)

部位：葉

成分：カランボラフラボン

薬効：心疾患治療

用途：果物，菓子材料



2020.4

カット面が星形になることからスターフルーツと呼ばれます。酸味のある果実は、そのままサラダにしたり、ピクルスやジュースにしたりします。葉から抽出したエキスには、フラボノイド類やカルコン類が多く含まれており、スキンケア商品を中心に配合されています。



2018.12

コーヒーノキ

Coffea arabica L. アカネ科

漢名：珈琲(コーヒー)

部位：種子

成分：カフェイン

薬効：覚醒，鎮静，利尿

用途：嗜好品，飲料



2018.5

芳香性のある真白な花をつけ、その後真っ赤はコーヒーチェリーといわれる果実をつけます。種子を取り除いた果実部分は、現地ではジャムにしたり、乾燥させてた肥料に利用します。そして、その種子を乾燥させ焙煎させたものがコーヒー豆となります。

ミラクルフルーツ

Synsepalum dulcificum Daniel.

アカデツ科

漢名：なし

部位：果実

成分：ミラクリン

薬効：擬似甘味

用途：サプリメント



2019.10

「酸っぱいものを食べると甘く感じさせる」という不思議な効果を持つことからミラクルフルーツとばれています。そのわけは、糖タンパク質の一種である「ミラクリン」という甘味誘導物質が関係しています。

パイナップル

Ananas comosus (L.) Merr.

パイナップル科

漢名：菠蘿(ハラ)

部位：果実

成分：ブロメライン

薬効：健胃消化

用途：果物，菓子原料



2018.8

パイナップルの果実は花序がその軸とともに多肉化したものです。葉は月経不順や月経痛に。葉の繊維質は加工して布にします。

グアバ

Psidium guajava L. フトモモ科

漢名：番石榴(バンジロウ)

部位：葉

成分：グアジャディアール

薬効：血糖降下

用途：果物，菓子材料



2020.10

ナシのような触感の果実を生で食べる他、ジャムやジュース、ゼリー、お菓子などに加工され食べられています。また、グアバの葉には抗酸化作用の強いポリフェノールが豊富に含まれお茶にして飲まれています。

この寒い時期に少しでも暖かい気分になっていただけたらと思い、今回は薬草園の温室で栽培しているトロピカルフルーツなどを紹介させていただきました。

私たちが果物として食べている部分以外が生薬として使われていることがわかると、一つ一つの植物についてさらに深く知りたいと思ってきます。そして、植物がいかに私たちの生活に欠かせない存在であることを改めて強く感じます。

横浜薬科大学ホームページ 薬用植物園 薬草園大百科

<https://www.hamayaku.ac.jp/about/map/herb-garden/>

薬用植物園 設楽 満希
園長 榊原 巖